

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成27年11月5日(2015.11.5)

【公開番号】特開2014-101484(P2014-101484A)

【公開日】平成26年6月5日(2014.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2014-029

【出願番号】特願2012-256382(P2012-256382)

【国際特許分類】

C 08 L 23/10 (2006.01)

C 08 L 23/16 (2006.01)

C 08 L 23/08 (2006.01)

C 08 K 5/00 (2006.01)

【F I】

C 08 L 23/10

C 08 L 23/16

C 08 L 23/08

C 08 K 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月14日(2015.9.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プロピレン系樹脂組成物( P )および結晶造核剤( Q )を含有する射出成形用樹脂組成物であって、プロピレン系樹脂組成物( P )が、

( 1 ) プロピレン系重合体( A ) 50 ~ 60 重量部と、

( 2 ) プロピレンから導かれる構成単位を 89 ~ 50 モル%の量で含有し、エチレンから導かれる構成単位を 10 ~ 30 モル%の量で含有し、さらに炭素原子数 4 ~ 20 の - オレフィンから導かれる構成単位を 1 ~ 30 モル%の量で含む(ただし、エチレンから導かれる構成単位と炭素数 4 ~ 20 の - オレフィンから導かれる構成単位との合計は 11 モル% ~ 50 モル%であり、プロピレンから導かれる構成単位とエチレンから導かれる構成単位と炭素数 4 ~ 20 の - オレフィンから導かれる構成単位との合計は 100 モル%である)プロピレン・エチレン・ - オレフィン共重合体( B ) 1 ~ 25 重量部と、

( 3 ) エチレンから導かれる構成単位を 50 ~ 99 モル%の量で含有し、炭素原子数 3 ~ 20 の - オレフィンから導かれる構成単位を 1 ~ 50 モル%の量で含有し(エチレンと - オレフィンの合計を 100 モル%とする)、密度が 880 ~ 920 kg / m<sup>3</sup> の範囲にあるエチレン・ - オレフィン共重合体( C ) 25 ~ 45 重量部、を含む(ただし、( A )と( B )と( C )の合計 100 重量部とする)ことを特徴とする射出成形用樹脂組成物。

【請求項2】

プロピレン系重合体( A )が、DSCにより測定したTmが 120 以上 170 以下であるプロピレン系重合体であり、プロピレン・エチレン・ - オレフィン共重合体( B )が、プロピレンから導かれる構成単位を 89 . 0 ~ 60 . 0 モル%の量で含有し、エチレンから導かれる構成単位を 10 . 0 ~ 25 . 0 モル%の量で含有し、さらに炭素原子数 4 ~ 20 の - オレフィンから導かれる構成単位を 1 . 0 ~ 25 . 0 モル%の量で含む(

ただし、エチレンから導かれる構成単位と炭素数4～20の-オレフィンから導かれる構成単位との合計は11モル%～40モル%であり、プロピレンから導かれる構成単位とエチレンから導かれる構成単位と炭素数4～20の-オレフィンから導かれる構成単位との合計は100モル%である)プロピレン・エチレン・-オレフィン共重合体であることを特徴とする請求項1記載の射出成形用樹脂組成物。

【請求項3】

前記エチレン・-オレフィン共重合体(C)が、  
エチレンから導かれる構成単位を55～99モル%の量で含有し、炭素原子数3～20の-オレフィンから導かれる構成単位を1～45モル%の量で含有(エチレンと-オレフィンの合計を100モル%とする)し、MFR(ASTM D1238、190、2.16kg荷重下)が0.1～100g/10分である請求項1または2に記載の射出成形用樹脂組成物。

【請求項4】

前記プロピレン系重合体(A)が、アイソタクティックプロピレン系重合体である請求項1～3のいずれか1項に記載の射出成形用樹脂組成物。

【請求項5】

前記プロピレン・エチレン・-オレフィン共重合体(B)の、GPC法により求めた分子量分布(Mw/Mn、Mw：重量平均分子量、Mn：数平均分子量、いずれもポリスチレン換算)が3.5以下であり、<sup>13</sup>C-NMRにより算出したアイソタクティックトライアド分率(mm)が85%以上であることを特徴とする請求項1～4のいずれか1項に記載の射出成形用樹脂組成物。

【請求項6】

前記プロピレン・エチレン・-オレフィン共重合体(B)のDSCで測定した融点が、100以下であるか又は融点が観測されないことを特徴とする請求項1～5のいずれか1項に記載の射出成形用樹脂組成物。

【請求項7】

プロピレン系樹脂組成物(P)100重量部に対し、結晶造核剤(Q)が0.01～2重量部含有されていることを特徴とする請求項1～6のいずれか1項に記載の射出成形用樹脂組成物。

【請求項8】

ASTM D-1238に準拠し、230、2.16kg荷重下で測定したメルトフローレートが1～100(g/10分)であることを特徴とする請求項1～7のいずれか1項に記載の射出成形用樹脂組成物。

【請求項9】

請求項1～8のいずれか1項に記載の射出成形用樹脂組成物を用いることを特徴とする射出成形体。